



第4回岡山地方会 活動報告

テーマ：「診断書」

開催日時：平成30年11月10日（土）14:00～17:30（開場13:30）

会場：岡山済生会総合病院 管理棟4階 さいゆうホール

開会の挨拶

水島中央病院 院長 松尾 龍一

水島中央病院 院長 松尾龍一先生より、開会のご挨拶をいただきました。医師の働く環境は、各種書類の作成や電子カルテの入力にかなりの時間を要し、勤務時間内には到底終わらない現状がありましたが、医師事務作業補助者が導入されて負担が軽減しているとのことでした。国の進める「医師の働き方改革」はもちろん「他のスタッフのストレス軽減」や「患者満足度」「医療安全」の貢献にも繋がっているとの温かいお言葉をいただきました。



講演

東京海上日動火災保険株式会社 那須 創



東京海上日動火災保険株式会社 那須 創 様をお招きし、「ここにご注目！保険会社から見た診断書作成のポイント」というテーマで御講演いただきました。保険会社の立場からの考え方、診断書は何のために書くのか？何が必要な項目か？お互いに悩んでいるポイントなどを解消し、医師事務作業補助者、保険会社、患者とそのサービスに繋がっていく状況等のお話がありました。多くの質疑にも答えていただき今後の診断書作成に役に立つのではないかと思います。

事例報告

- ・倉敷平成病院 金光 ルミ 氏
- ・倉敷成人病センター 赤澤 律子 氏

上記2施設の実務者から事例発表があり、各医療機関での診断書の取り組みについて報告が行われました。会場から質疑も活発に行われ、関心の高さを感じました。



グループディスカッション



今回は1時間20分(40分×2回)の時間を確保しました。テーブルごとにテーマ「書類作成」「代行入力」「病棟業務」「NCD」「教育」「業務範囲」「マネジメント」等を設け、自由席で行ないました。

県内外からの121名の実務者で、情報交換・交流が活発に行われました。発表の時間を設けていないことから、時間の限り率直な意見交換ができることとアンケート結果からも喜びの声が多く聞かれました。

閉会の挨拶

岡山済生会総合病院 中山 進也

岡山県支部世話人である岡山済生会総合病院 中山 進也 氏より閉会の挨拶がありました。今回、講演、発表された関係者はもちろん参加者への感謝の気持ち、「働き方改革」に対する医師事務作業補助者に寄せられる期待や役割の大きさを改めて実感したとの感想と今後、岡山地方会を通しての情報収集、病院間の横のつながりを強めていき岡山の地域医療の発展に貢献していきたいとの考えを述べられ、第4回岡山地方会を締めくくりました。

研究会の活動報告

NPO 法人医師事務作業補助研究会 岡山県支部長 近藤 祐加

当研究会の事業内容の説明、全国大会、地方会、マネジメントセミナーなどの活動内容、会報発行やアンケート調査などを行なっていることを紹介し、会員になるメリットなども話しました。また、来年11月10日に福岡で開催予定の全国大会についてアナウンスしました。

地方会を通して

平成28年9月に岡山県支部を発足後、4回目の開催となることから、関係者のみなさまのご協力をいただきながら準備を重ねてまいりました。

今回は多くの施設が行っている「診断書」をテーマとしました。会員35名、非会員76名、世話人10名の計121名の参加があり、県外の医療機関からも多数参加がありました。回を重ねるごとに参加人数は増加傾向です。地域の医師事務作業補助者同士で気軽に情報交換・共有ができ、アンケート結果からは満足度の高さが伺え、充実した時間となりました。

今後も、今回のアンケート結果をもとに、より実りある地方会開催に向けた企画・運営に努め、同じ医師事務作業補助者同士の交流を深める場を提供するとともに、職種の発展に繋がる活動を継続していきたいと思っております。

報告者：一般財団法人操風会 岡山旭東病院 近藤 祐加